

清らかな源流の里

県南農林だより

第 23 号

特集

平成30年
6月10日開催!!



全国植樹祭

ふくしま
2018

育てよう
希望の森を
いのちの森を



特集

- 目次
- ▶ 全国植樹祭 白河 PR 会場
 - ▶ 農林業関係の動き
 - ▶ 管内事業者による JGAP 個人認証の取得
 - ▶ しらかわ・地域産業6次化推進協議会を開催
 - ▶ 第68回地方植樹祭(中島村)
 - ▶ 西郷村農産物直売所出荷者説明会
 - ▶ 「矢祭山みどりの少年団」結団式
 - ▶ ナシ樹体ジョイント仕立て栽培研修会
 - ▶ コラム
 - ▶ 塙小学校「田んぼの学校」の取り組み
 - ▶ お知らせ
 - ▶ 食品表示の変更

◆全国植樹祭 PR 会場へお越しください!

平成 30 年 6 月 10 日(日)に白河駅前イベント広場において、イベントが開催されます。これは、南相馬市(しどけ)地区で行われる「全国植樹祭 2018」を盛り上げるための盛大な PR イベントです。

白河 PR 会場では、本会場の LIVE 中継を行うほか、森林や林業を中心とした各種イベントや、6次化商品の販売、県南地方の各種団体によるステージイベントが行われます。(企画部)

県南地方の文化紹介

- 10 時 30 分～
塙工業高等学校和太鼓部による太鼓演奏
- 11 時 00 分～
県南地方のご当地キャラによるステージ
- 11 時 25 分～
地元盛り上げ隊 KKB67 による中島村の PR ステージ
- 11 時 55 分～
西郷村小田倉小学校吹奏楽部による吹奏楽演奏
- 12 時 25 分～
ダルライザーステージショー
- 12 時 55 分～
矢吹町のご当地アイドル「ShuN-R@n GIRLS☆」によるステージ

飲食コーナー()内は出店者

- ◇ ルバーブジャム等((株)ルバーブの島田農園)
- ◇ 野菜、6次化商品(県南販路拡大促進協議会、直売・加工の仲間ネット県南)
- ◇ 米、おむすび((株)齋藤商店)
- ◇ クレープ、アイス(リリーズカフェ)
- ◇ なみえ焼きそば(キッチンなみえ丸福)
- ◇ ピロシキ等(テレモック)
- ◇ ピラフ、ドライカレー等(トロン)



↑ 地元のヒーロー、ダルライザーによるショーが行われます。グッズも多数取りそろえています。



↑ ステージイベントのトップバッターを務める塙工業高校和太鼓部

体験コーナー

- ◇ チェンソーによる丸太切り体験
- ◇ 木工体験
- ◇ 木材の展示・体験
- ◇ 木の香袋作成(ヒノキ)
- ◇ 原始模様ペンダント作成(有料)
- ◇ 木工クラフト
- ◇ 竹とんぼづくり、飛ばし体験

○全国植樹祭について(公益社団法人 国土緑化推進機構 HP より)
全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的行事として開催されています。天皇皇后両陛下によるお手植え・お手まきや各種表彰、参加者による記念植樹等が行われます。

◆管内のトマト生産者が JGAP 個人認証を取得しました

白河市表郷の星農園(代表 星哲也氏)が、農業生産工程管理手法の第三者認証である「JGAP」を平成 30 年3月 20 日付けで認証されました。認証を受けた作物はトマトとミニトマトで、これまで農林事務所や JA と共にリスク評価や書類整備を行い、コンサルを受けるなど認証取得に向けて半年以上準備を行ってきました。JA 東西しらかわ管内としては初めての取得で、4月 24 日に JA 東西しらかわの沼野専務等と共に来庁され、県南農林事務所所長に JGAP の取得を報告しました。今後は JGAP により、さらなる経営改善や販路開拓に活用していきたいとの意気込みでした。

GAP 認証を受けた農場は信頼性の高い生産管理体制を持つ農場として扱われます。オリンピック・パラリンピックで使用する食材調達基準になるということもあり、農業者・流通業界・消費者による GAP への理解は徐々に進んでいます。管内では、他にも多くの経営体が GAP 認証取得に向けて準備をすすめており、農林事務所でもサポートチームを作り取得に向けた支援を行っています。(農業振興普及部)



↑ 来庁された星哲也氏(右端)

◆平成 30 年度 しらかわ・地域産業 6 次化推進協議会を開催しました



↑ 朽木協議会長によるあいさつ

平成 30 年 5 月 22 日(水)白河合同庁舎大会議室において、「平成 30 年度 しらかわ・地域産業 6 次化推進協議会」を開催し、県南地方管内の商工会や市町村担当者など 22 名が出席しました。

会議では、構成員が日頃から感じている課題や首都圏での販売を行った感想などの各種情報交換が行われました。

なお、事前に協議会のメンバーから収集したアンケートによると、管内の 6 次化産業の課題として「商品開発のアイデアが浮かばない」「価格の設定が難しい」が同票でもっとも多くの票が入りました。次いで「販売先とのつながりが得られない」「いいパッケージデザインが浮かばない」「事業者間のマッチングが円滑に進まない」が多い結果となりました。この結果を基に、会議の中では『事業者や農業者、行政が一体化して取り組んでいくことが大切』『SNS などを活用した効果的な商品 PR 方法を学びたい』等の意見が出されました。(企画部)

◆第 68 回地方植樹祭が中島村で開催されました

平成 30 年 5 月 18 日(金)に、童里夢公園なかじまにおいて「中島村輝ら植樹祭」が開催されました。

当日は肌寒い曇り空でしたが、加藤幸一中島村長の開催挨拶や、村立中島幼稚園の園児 6 名による元気いっぱいな「緑の誓い」の後、参加者 98 名が、緑に親しみ、守り育てる思いを新たに、モミジやサツキの植樹活動を行いました。

また、いよいよ 6 月 10 日に迫った第 69 回全国植樹祭 2018 に向けたセレモニーもおこなわれ、県内の植樹活動をつなぐ「森林とのきずなづくり植樹ラリー」として、福島県森林・林業・緑化協会の大高緑化推進局長から加藤村長へバトンとプレートがリレーされたほか、中島村の滑津小学校と吉子川小学校の児童から県へ、ドングリから約 2 年半の間育ててきたコナラの苗木が引き渡されました。

この苗木は、子どもたちが育んだ緑への思いとともに全国植樹祭で植樹されます。(森林林業部)



↑ 地方植樹祭の様子

◆西郷村農産物直売所出荷者説明会が開催されました

平成 30 年4月25日(水)、西郷村文化センターにおいて、「西郷村農産物直売所出荷者説明会」が開催されました。6月9日(土)の直売所オープンに向けて、出荷希望者など約120名が参加されました。

一般財団法人西郷村農業公社から、生産物の出荷方法、今後のスケジュールなどについて説明され、参加者の意識の統一化が図られました。当事務所からは、農薬の適正使用、販売物の食品表示について説明し、参加者は安全・安心な農産物出荷のために必要な事項について再確認しました。

6月9日(土)の直売所オープン初日には地元産の農産物や加工品などの販売に加え、各種イベントの開催も予定されていますので、是非足をお運びください。(農業振興普及部)



↑説明会の様子

◆「矢祭山みどりの少年団」結団式が行われました！



↑団長による団結宣言

平成30年4月27日(金)、矢祭町立矢祭小学校の児童3～6年生で構成される「矢祭山みどりの少年団」の結団式が行われました。

この少年団は、昭和49年に結成された歴史のある少年団です。今年度は新たに45名の3年生を迎え、団員総数166名での結団式となりました。式には、少年団の育成会長を務める古張矢祭町長をはじめ多くの方が出席し、あいさつや祝辞などの後、団長の二見郁人さんが元気よく結団宣言を行いました。今後、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を行っていく予定です。

また少年団が3年間かけて実施してきた「苗木のスクールステイ」にてドングリの実から大切に育てられた苗木は、6月10日に行われる全国植樹祭2018の会場で植樹される予定となっています。(森林林業部)

◆ナシ樹体ジョイント仕立て栽培研修会を開催しました。

平成 30 年4月12日(木)、白河市大信地区にあるナシほ場において、「ナシ樹体ジョイント仕立て栽培研修会」を開催し、生産者、JAの職員など19名が参加しました。

ナシ樹体ジョイント仕立て栽培(以下、ジョイント栽培)とは、主枝の先端部を隣接樹の主幹肩部へ接ぎ木し、複数樹を直線上の集合樹に仕立てる技術です。苗木定植から経済樹齢に達するまでの未成園期間を短縮することができ、作業の省力化が図られる栽培新技術です。

研修会では、ジョイント栽培の開発者である神奈川県農業技術センターの柴田健一郎主任研究員を講師にむかえ、実演を交えながら主枝部の接ぎ木方法について説明していただきました。参加した白河地方の果樹生産者のなかには、今年度からジョイント栽培を始めた生産者もあり、熱心に学ぶ様子がうかがえました。

本研修会がナシ産地の発展に向けて、ジョイント栽培の普及拡大につながることを期待します。(農業振興普及部)



↑講師の説明を受ける参加者

◆～食と命の大切さを学ぶ～ 塙小学校「田んぼの学校」の取組み

平成30年度の「ふくしまの農育」事業の一環として、当事務所では、塙町立塙小学校及び地元農家の方々と連携し、5年生を対象に「田んぼの学校」を実施します。

「田んぼの学校」は、農村地域を活用し、「食・命の大切さ」、「農業・農村地域の大切さ」を学ぶ社会教育、「自然環境の大切さ」を学ぶ環境教育を総合的に実践する「農育」の推進と、子どもたちとの交流を通じた地域住民活動の活性化を目的として取り組んでおります。

今年度1回目の取組として、5月11日(金)に塙小学校脇の田んぼで、田植えを行いました。当日は天気にも恵まれ、児童の皆さんはぽかぽか陽気の中、田んぼに足をつけ、水の冷たさや泥の感触に歓声をあげながら1つずつ丁寧に苗を植えていました。



中には、田んぼの中で尻もちをついて泥んこになる児童もいましたが、笑顔で田植えを楽しんでいました。

これから、9月には稲刈り・はせがけを、10月には脱穀を行い、収穫したお米は11月に学校で行われる収穫祭で、地元の伝統料理とともに味わうこととしています。

この度、御協力いただいた塙小学校の皆さんを始め、台宿(だいじゅく)水と資源を守る会、保護者の皆様に御礼申し上げます。
(農村整備部)



お知らせ

◆全ての加工食品の原材料の産地が表示されます！～産地を見て、商品を選べます～

昨今、食品においても商品の多種多様化やフードチェーンの国際化により、さまざまな国の原材料を用いた加工食品が流通しており、原材料の産地が気になる方も多いと思います。そんな中、平成29年9月1日より、全ての加工食品で原材料の原産地を表示する「新しい原料原産地表示制度」がスタートしました。平成34年3月までは移行期間となっていますが、今後は新しい表示方法の加工食品を目にする機会が増えると思います。新制度を上手く活用して、食卓をより安心感のあるものにしていきたいですね。(企画部)



農林業に関する相談などお気軽にご連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒961-0971

住所 福島県白河市昭和町269番地(白河合同庁舎4階)

電話 0248-23-1577

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

平成30年5月30日発行

